

静岡
SHIZUOKA

津波対策だけでなく、360度の景色が楽しめる「びゅうお」誕生

この沼津港大型展望水門「びゅうお」は沼津港の内港と外港を結ぶ航路から進入する津波から港の背後地の50ha、9,000人を守るために作られた水門です。津波をシャットアウトする扉体(ひたい)は、幅40m、高さ9.3m、重量は406tと日本最大級です。

材質は、国内でも珍しい両面クラッド鋼板という、さびにくい素材で出来ていて、備え付けられた地震計が震度6弱、250ガル以上の加速度を感知した場合、自動降下し、約5分以内で閉まるようになっています。

また、それ以外にも東海地震の警戒宣言が出た場合などにも閉鎖することになっています。

これだけの大きな扉体なので、それを支える躯体も大きく、沼津市ではその高さを生かして展望施設を併設しました。

この展望施設には、両岸に設置した13人乗りのエレベーターにより昇ることができます。両岸の機械室の周囲を幅2m、ところにより3mの展望回廊がまわっていて、この展望回廊の床は、地上約30mです。両側の展望回廊を幅4m、長さ約30mの連絡橋がつないでいて、北には愛鷹山、富士山、南アルプスを望み、遠く清水まで見渡せます。また、箱根連山や沼津アルプスを見渡し、眼下には我入道



沼津港大型展望水門「びゅうお」
(写真提供：沼津市)

海岸が広がり、その先に駿河湾に突き出した大瀬崎をくっきりと見ることができ、東西南北360度の展望を楽しめます。また、ここから見る駿河湾に沈む夕日は格別です。

沼津市では、この施設を千本浜公園から御用邸記念公園・志下海岸までを結び、若山牧水や井上靖、芹沢光治良、勝田香月など沼津ゆかりの文人たちの文学碑や歌碑、記念碑などが点在し、沼津を代表する景観、また文学風土を肌で感じることができる「潮の音プロムナード」のほぼ中間に位置する沼津港のランドマークとして位置付けており、潮の音プロムナードの各施設と連携した計画や、沼津港周辺の飲食店街と連携した観光客誘致策など、お客様が何度でも足を運びたいような計画を考えていきたいと思っています。(36ページ写真もご参照下さい)

神奈川
KANAGAWA

水族館が続々とオープン 地域経済活性化にも寄与

県内の観光地が今年に入って、水族館ブームに沸いている。湘南海岸では近代水族館の草分けといわれた江ノ島水族館が4月に「新江ノ島水族館」(藤沢市)に建て替えられ、9月初旬には早くも入館者100万人を達成。横浜でも国内最大級の水族館を持つ八景島シーパラダイスが新水族館「ドルフィンファンタジー」(金沢区)

を、喜劇で知られる吉本興業が「よしもとおもしろ水族館」(中区)をそれぞれ7月にオープンさせた。

3館は相談した訳ではないが、「江ノ島」が教育と遊びをバランスよく配したオーソドックスな大型水族館、「ドルフィン」はイルカの飼育展示に特化した“癒し系水族館”、「よしもと」はお笑いの要素を取り入れたユニークな水族館と、性格が全く異なる。立地エリアも「江ノ島」がリゾート地、「ドルフィン」は都市型リゾート地、「よしもと」は横浜の中心部にある中華街で、競合する可能性が低い。

それだけに初年度の入館者を「江ノ島」は180万人、「よしもと」も20万人と強気に見込む。「江ノ島」は9月初旬までの入館実績から、目標達成に自信を深めている。「ドルフィン」はオープン効果により、既存の「アクアミュージアム」を含



横浜・八景島シーパラダイスが開館した“癒し系水族館”「ドルフィンファンタジー」

めた入館者が180万人(2003年度152万人)、八景島の来島者が530万人(同484万人)に増えると予測。今夏のにぎわいを見る限り、「江ノ島」以外の2館の目標達成も現実味を帯びてきた。

「江ノ島」と「ドルフィン」は、水族館の開放的な空間を利用して企業・団体のパーティーや結婚式を開催する“新商売”にも取り組んでいる。「江ノ島」ではオープン直後、千数百人規模の大学同窓会パーティーを開いて好評を博した。こういった企業努力により入館者が増えれば、地域経済への波及効果も期待できる。中でも「江ノ島」は旧水族館時代、ラッコ飼育で人気ピークに達した時でも入館者は60万人(1985年)止まりだったので、新水族館に対する期待はいやが上でも高まっている。